

オリーブの会通信

2014年3月5日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会

〒760-0078 高松市今里町一丁目499-2

連絡先 TEL/FAX 087-843-9877 (川井)

<http://khj-olive.com/>



第141回月例会ご案内

日 時	2014年3月23日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 (第1・2研修室) 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	13:30 ~14:10 「ピアサポーターフォローアップ研修に参加して他」 川井理事長、若者 「新居場所について」 松本副理事長 14:10 ~14:30 「若者たちの交流会 in 香川に参加して」他 若者2~3名 14:30 ~15:00 「役員になって思うこと」 泉 善法理事 15:00 ~15:15 休憩 15:15 ~16:30 グループ別話し合い
参 加 費	・会員1家族 1,000円 ・一般の方 1,500円 ・当事者は無料

桃の節句も過ぎ、陽ざしのやわらかさに春の訪れを感じていたのも束の間、また寒さが戻ってまいりました。皆様お元気でお過ごしのことと存じます。

3月の月例会案内状をお送りしますので、皆様どうかご参加ください。

居場所の移転準備が始まりました

2月の通信で皆さんにお願いしておりました居場所情報について2件寄せられました。そこで日程が限られている関係から、早速役員において2件の候補物件（瀬戸内町・今新町）を下見検討いたしました結果、今新町の物件に決めさせていただきました。

赤字決算回避の寄附のお願いに続き、再度居場所移転に伴う寄附をお願いしておりましたが、多くの会員の方々が居場所の重要性を認識して下さっていてご協力いただきましたこと、厚くお礼申しあげます。

はじめに懸念いたしておりました、「居場所」が無いという空白期間が生じることなく移転準備に入ることが出来ました。そこで何でも結構ですので、各自が出来ることに参加していただければと思います。（2月の月例会に参加された方で、すでにご協力頂いた方もおられます。）

詳しくは同封の「居場所引っ越し手伝いのお願い」をご覧ください。

皆で力を合わせて前へ進みましょう!!

【2月月例会（2/23）の概要】

1 松本副理事長の報告・連絡

- (1) 川井理事長、秦氏は2月22日（土）ピアサポーターフォローアップ研修に参加
- (2) 寄付について、40家族から15万余、寄せていただいた。有難うございました。
- (3) 居場所の移転について。2月22日（土）新居場所の片付けを5名で行った。
居場所移転に伴う費用も必要なので、引き続き寄付金を募集中。
- (4) 拡大理事会：3月1日（土）。（運営委員会に変更）
- (5) 3月2日（日）13時から16時まで、「若者たちの交流会 in 香川」、13時30分から「KH J 四国ブロック会議」開催予定。場所は社会福祉総合センター。会員さんも参加を要請。
- (6) 2月11日（火）東條氏宅の農園にて、しいたけ菌の植え付けを経験した。参加人数 家族7名、若者6名、計13名。
- (7) 2月26日（水）県障害福祉課において「ひきこもりサポーター養成研修」実施にあたり、内容等他について検討予定。（川井理事長、松本副理事長出席）

2 ひきこもりサポーター 養成研修事業

香川県健康福祉部障害福祉課精神保健・人材育成グループ 植田ちひろ氏

I. 香川県におけるひきこもり対策推進事業

- (1) ひきこもり地域支援センターにおける活動（パンフレット）

平成23年6月20日開所。

主な事業内容

- ① 相談業務：電話・来所・メール
コーディネーター1名が専任、他の職員が兼任で計2名で主に相談に当たっている。
その他職員も相談に当たることもある。
- ② 当事者、家族への支援：訪問／当事者の集い／親の会の運営
- ③ 人材育成、普及啓発活動：関係者向け研修会／リーフレットホームページによる広報
- ④ 関係機関間の連携
引きこもり対策連絡協議会／県内外の関係機関の連絡調整
年2回あり、川井理事長も参加。教育機関、労働機関、行政機関情報の共有。

(2) 保健所における活動

主な業務内容

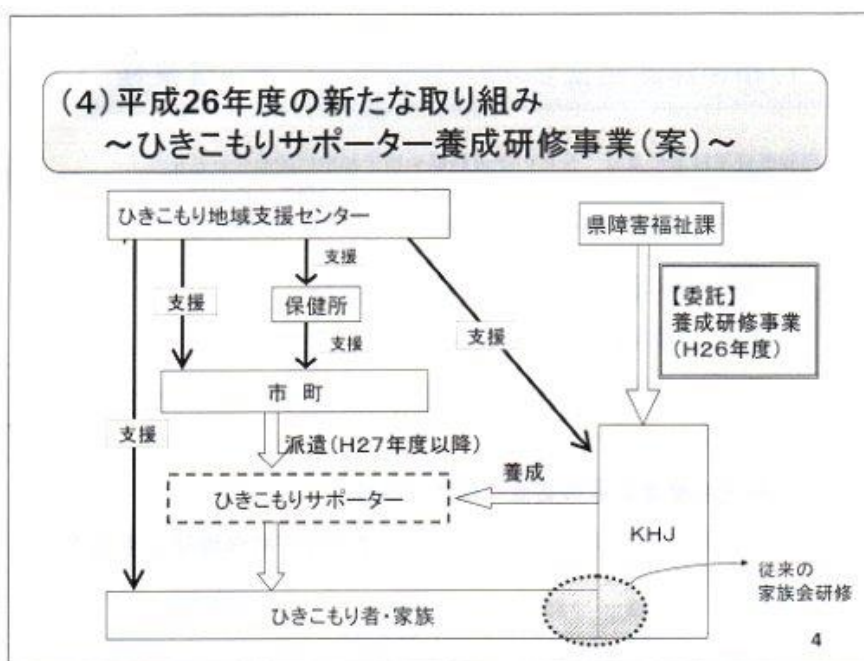
- ① 相談業務：電話・来所
- ② 当事者、家族への支援：訪問／家族教室
- ③ 人材育成、普及啓発活動：関係者向け研修会
西讃、中讃、小豆、東讃、高松市計5カ所ある
より地域に根ざした活動をしている。地域で対応が困難な事例は、ひきこもり地域支援センターと連携して行う。

(3) 県内相談実績（平成24年度分）

訪問は計47件、相談は537件。

当事者の居場所開催は、25年度10月から月1回開催することになっている。

(4) 平成26年度の新たな取り組み



ひきこもりサポーター養成研修事業

国の実施要項がある。

ひきこもり支援に関心のある方なら誰でもサポーターになれる。家族、当事者、学生、地域の民生委員、関心のある人、研修会に参加した人がサポーターになれる。

香川県障害福祉課が、KHJ 香川県オリーブの会に委託して行う。

どこの機関に委託したらいいかと検討した結果、活動状況、他団体との繋がり、ひきこもり家族、サポーターになれる人の情報量から、KHJ 香川県オリーブの会が適していると考えられるため。

オリーブの会の月例会と、このサポーター養成研修は別のものとして位置づける。しかし、開催日を同じにして1部、2部に分けて行っても良い。なるべく多くの方が参加できるようにしたい。

サポーターの登録・派遣の実施主体は市町村となっている。

27年度にはすぐにでも派遣開始ができる体制を整えそのためにも、26年度は、研修＋派遣開始準備の年度となる。

興味を持ってもらえる内容、カリキュラムを今後検討して行く。

その他香川県における地域精神保健活動の紹介があった。

精神保健福祉センターにおける精神保健業務、相談実績、保健所における精神保健福祉業務、相談実績、5カ所の保健所での精神保健福祉相談を嘱託専門医による個別相談ができることが紹介された。

自殺予防の活動、ゲートキーパーの紹介があった。

質 問

Q1、精神保健福祉センター所長が決まっていないが、今後どうなるのか？

A1、県としても各所に相談をし、検討を進めているところである。

(＜参加者から＞日本全国に募集をかけてはどうかとの提案があった。)

Q2、訪問は、行政の方と複数で行った方が良いといわれているが、どのように行うのか？

A2、これから養成研修をしながら詰めて行く。保健所または市、町の職員とペアでと考えている。

Q3、保健師さんは、訪問の素地ができているというスタンスなのか？また、行政職員または研修を受けたサポーターとどちらが主体となって行くイメージなのか？

A3、行政の職員は今までの訪問の素地があり、上記精神保健福祉センター、保健所の業務として③人材育成、普及啓発活動、関係者向け研修会を行っている。養成研修会にも参加してもらえるよう積極的に声をかける予定である。どちらが主体となるのかはまだ決めてはいないが、最初の方は行政の職員の方が主体となり、回を重ねていくとサポーターが主体となって行く方がベストなのではないかと個人的に考えている。

Q4、ひきこもりを診てくれる、医師のデータが県障害福祉課にはないか？

- A4、精神科の医師に聞いてみたことがあるが、精神疾患領域全般を診るのであって、ひきこもりを診れるようこうではない。ひきこもりは状態であって病名ではないので、ひきこもり専門というのはいないのではないか。
- Q5、ひきこもりを詳しく診れる医師がいるはずなので教えてほしい。
- A5、県としては把握していない。医師会等の協力が必要である。
- Q6、訪問した人に報酬は出るのか？生活支援、家族会の活動に使えばいいと思う。
- A6、報酬は想定してかなければならないが、実施主体は市町であり、具体的な報酬額等、今後の検討課題である。

グループ別話し合いは2グループに分かれ、居場所移転の話し合いが1グループ、計3グループに分かれた。

1グループはポパイの会の方が2名参加された。

オリーブの会の父親の役割についての質問があり話し込んでおられた。また、そっとしておいた方がいいのか、いろいろ働きかけた方がいいのかななどの質問があった。

【椎茸菌の植え付け(2/11)】

名古屋から丸亀に越して来たばかりの小学四年の時、クラスの友達に誘われて、カブトムシの幼虫を採りに行ったことがあります。山の麓の何やら斑点のある原木が積み重なる場所で、その一面に朽ちてボロボロになった原木を集めた箇所があり、そこを掘ると幼虫が沢山出て来て、合計109匹採れました。名古屋ではカブトムシは「お店で買うもの」だったので、こうして自然に採れるのはすごいと感動しました。

ただ、採っている最中、その友達が「伏せろ！」と発する場面が数回あり、訳が分からないまま従っていましたが、後に、椎茸栽培とカブトムシの養殖をやっている農家に侵入し、幼虫は採れたのではなく、盗っていたのだということが分かりました。

今回、当時は謎だった原木の斑点の正体がよく分かりました。東條さんは猪が侵入するとおっしやっていましたが、小学生じゃなくてホッとしました。(Hさんの思い出から)



(写真 平野氏提供)



【2014/ 3・4月 居場所活動予定】

内 容	月	日	曜日	時 間	担 当
2013年度第10回運営委員会	3	1	土	13:30 ~	川井
個人カウンセリング (松田先生)	3	8	土	9:00 ~ 13:00	加藤
若者たちの交流会 in 香川	3	2	日	13:00 ~16:30	森下 川井
四国ブロック会議 (家族交流会)	3	2	日	13:30 ~16:30	川井
2014年度第1回 (拡大) 理事会	4	6	日	13:30 ~ 16:00	川井
個人カウンセリング (松田先生)	4	12	土	9:00 ~ 13:00 (予定)	川井

【若者たちの交流会 in 香川】

3月2日(日) 若者たちの交流会 in 香川『ひきこもりの休日～ひきこもりを一日休んで～』は、若者が、香川・高知・愛媛・岡山・兵庫・大阪から、総勢22名、家族が香川・高知・愛媛・徳島から17名が参加し、香川県社会福祉総合センター6Fで開催しました。

県外からの参加者は、それぞれ車に乗り合わせたり、電車で高松に入り、まずはさぬきうどんで昼食、会場に集まりました。

若者の部屋となった和室では、受付や座卓・座布団(見学席も)を若者で準備、受付を済ませた参加者は座布団に腰を下ろして開始を待ちました。

前半は、まずは軽く名前と府県を一人ずつ紹介、次に自己紹介し、話したいことを聞いてみたところ、参加者の方からひきこもりの経験を聞いてみたいとの提案があり、途中で休憩をはさみながら、一人ずつひきこもり経験を話しました。隣の部屋では並行して家族が会議を開催しました。後半は、家族も和室に入ってもらい、まずは若者の部屋の報告をし、次に家族からそれぞれの支部のメンバーや活動紹介があり、家族から若者への質問(家族としての質問や居場所運営についてなど)がありました。(森下)



全国ひきこもり KHJ 親の会
高知県支部やいろ鳥の会
坂本勲氏(ペンネーム・則)



2014年2月11日

居場所 引っ越し手伝いのお願い

【実施日】 3月15日(土)と 3月16日(日)の二日間

【集合場所】 居場所:住所 高松市今里町一丁目 499-2

【集合時間】 9:30 ~ 16:30 (遅刻、早退もOK)

【参加連絡方法】 事前にメール又は電話、FAXでお願いします。

t_kawai@mtj.biglobe.ne.jp ☎/FAX 087-843-9877 (090-4332-3288) 川井

【持ち物】 ○軍手 ○ビニール手袋 ○マスク ○バケツ(近くの人のみ)○雑巾

【今里の主な作業】

・今里の家財類他運び出し、粗方(アラカタ)の埃をとってから軽トラックに積み込み、今新町へ運搬

・使用開始時に移設した家主さんの家財、カーペット等を物置から、現居場所の元の場所に移動。今里の居場所清掃

【今新の主な作業】 新居場所で軽トラックから家財類他を下し搬入、設置

ポパイの会の若者も、ふるって参加して下さいね。

動ける範囲で、全く問題ありませんから。

